



平和祈る 3年ぶり 平和記念式典へ

平和記念式典への派遣事業は、恒久平和の願い・平和教育の一環として、昭和63年の追分町時代に始まり、合併後も続いてきた事業。しかし、ここ2年間は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、事業の実施を見送ることになっていました。

今年は3年ぶりに、町内の小中高生5名と職員3名が広島へ。3度の事前研修を経て、2泊3日の行程で戦争の凄惨さを学んだ。例年であれば、事後研修の後、町民の皆さんを対象とした安平町平和祈念式典に併せ報告会が行われるが、今年は執り行われないため、特集として派遣の様子をお伝えします。

写真・教育委員会社会教育グループ

